



## 島津製作所テクニカルワークショップ

日時:2015年12月3日(木)14:00~16:30  
会場:神戸ポートピアホテル 南館 サファイア  
共催:株式会社島津製作所

MSイメージングを基盤とした疾病マーカーの探索・同定・診断を目指して

演者:三浦 大典先生  
九州大学 先端融合医療レドックスナビ研究拠点 准教授

メタボロミクス技術について、イメージングと定量の両面から

演者:緒方 是嗣・渡邊 淳  
島津製作所分析計測事業部

メタボロミクスはゲノムの物質的最終表現である代謝物を対象とし、疾病マーカー探索や創薬ターゲットの同定、疾病発症メカニズム解明における重要性が強く指摘されている。近年その解析は技術としても成熟期に入りつつあるが、分析基盤としてはGC-MSやLC-MS等を用いた一斉分析である。これらの手法は高い定量性・再現性を持つ一方で、サンプル調整が煩雑でありスループットが低いため、多検体の解析を行う上では課題が存在する。更に組織サンプルを対象とした場合は組織からの代謝物の抽出・濃縮が必要な故、局所的な情報が失われ、標品のない化合物は未知ピークとして放置され、創薬・医療現場への応用を指向するには新たなパラダイムシフトが必要な段階にいる。本ワークショップでは、このような課題を踏まえ、我々の最新のデータを紹介すると共に、解決策としての質量分析イメージングにおいて今後求められる重要なポイントについて議論したい。